



広報

かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話☎2111 内線240



サンタさん ありがとう

1997
12

No.380

12月1日
「サンタ列車」出発式より

町長就任のごあいさつ

金木町長 鳴海 義男



町民の皆様にごあいさつ申し上げます。
この度、町民の皆様の絶大な御支援と御理解をいただきまして、第十三代町長に就任させていただきました。誠に有難うございました。

さて今後四年間、町政の執行にあたることになりましたが、今日のわが国の社会情勢は依然として深刻な不況下にあり、また地方財政においても今後さらに厳しさを増すことが予想されます。

このような情勢の中で、いかに町民の皆様の期待に応えるべきであるかを考えるとき、あらためて責務の大きさを痛感しているところであります。何ものにもくじけない強い決意を持って、議会との対話を重ねつつ、多くの人の意見に耳を傾けながら、取り組んでいかなければならないと考えております。

つきましては、今後解決していかなければならない課題が山積みしておりますが、農業の振興や商店街の活性化はもちろんのこと、太宰治記念館「斜陽館」を拠点とした観光立町の確立、地場企業の育成や企業誘致の促進、高齢化社会に即応した福祉対策、将来を担う子どもたちのための教育の充実等について、町職員ともども町民の公僕としての勤めを全うし英知を結集して、町発展のため一丸となつてのぞむ所存でありますので、町民の皆様の一層の御支援と御理解をお願い申し上げます。ここに町長就任のごあいさつといたします。

金木町名誉町民に

伊藤 忠吉氏



伊藤 忠吉氏

金木町名誉町民条例の規定に基づき、去る九月定例議会において全員一致で金木町名誉町民の称号を、金木町三軒町出身で東京都在住、公認会計士の伊藤忠吉氏に贈ることを決定しました。

昭和四十八年、元町長の津島文治氏(故人)、同年学校図書「藤元文庫」で知られる藤元嘉嗣氏(故人)以来、三人目の名誉町民となります。

【伊藤氏の主な実績】
明治四十四年五月二十日生まれ
の八十七歳。
金木町伊藤忠吉福祉基金と

して昭和六十一年に一千万円、平成二年に一千万円の計二千万円寄付されるとともに、金木町伊藤忠吉・萬寿子記念奨学金として平成六年に三千万円、平成七年に一千万円、平成八年に一千万円の計五千万円、合計七千万円と多額な寄付をされ、金木町の社会福祉事業および教育振興に大きく貢献されています。

また、町褒賞(昭和六十二年)、紺綬褒賞(昭和六十二年、平成三、七年) 県褒賞(昭和六十二年、平成三、八年)を受賞しています。



▲謝辞を述べる又一製材所の外崎広さん

永年勤続 従業員を表彰

— 金木町商工会 —

金木町商工会（会長 今誠）で十一月三日、商工会館 ホールにおいて金木町に勤務 二人を表彰しました。表彰は、町商工業の発展に

寄与していることを感謝するとともに日頃の労苦をねぎらうもので、今会長から表彰状と記念品が一人ひとり手渡されました。受賞者を代表して又一製材所の外崎広さんが「この受賞を機会にますます精励し、町商工業界発展のために努力していきます」と謝辞を述べました。

各表彰者は次のとおりです。

- ◆四十五年以上
 - 外崎 広（又一製材所）
- ◆四十年以上
 - 伊南 せつ（入メ食堂）
- ◆三十五年以上
 - 成田 幸子（はまけい新岡商店）
 - 藤田トミ子（公立金木病院）
 - 竹内 良子（公立金木病院）
 - 斎藤 謙一（公立金木病院）
 - 佐藤ミキ子（公立金木病院）
- ◆三十年以上
 - 白川 愛子（又一製材所）
 - 西村 英子（公立金木病院）
 - 白川チサ子（公立金木病院）
 - 小山内冷子（公立金木病院）
 - 山田 洋子（公立金木病院）
 - 津島 洋子（公立金木病院）
 - 今 清美（公立金木病院）
- ◆二十五年以上
 - 木村 茂子（津島医院）
 - 木村 治（金木自動車学校）
 - 白川ヨシエ（尾野病院）
 - 角田 悦子（尾野病院）
 - 土岐 忠義（藤本石油）
 - 板谷 一枝（松山呉服店）
 - 工藤 初美（木村製材所）
 - 油谷 光雄（今与建設）
 - 小野 武則（公立金木病院）
 - 田中 秀一（公立金木病院）
 - 福長由紀子（公立金木病院）
 - 泉谷 和子（公立金木病院）
 - 川村 京子（公立金木病院）
 - 其田 光子（公立金木病院）
 - 長利 玲子（公立金木病院）
 - 野宮恵里子（公立金木病院）
 - 青山セツエ（公立金木病院）
 - 秋田みちゑ（公立金木病院）
 - 原田 えみ（公立金木病院）
 - 田中 弘子（公立金木病院）
 - 竹内 和子（公立金木病院）
 - 泉谷ぬい子（公立金木病院）
 - 今 花子（公立金木病院）
 - 大川久美子（公立金木病院）
 - ◆二十年以上
 - 浜田 秀美（藤本石油）
 - 原田セツ子（スーパリーなりた）
 - 吉田 則昭（木村製材所）
 - 榎引 豊（角平商店）
 - 大橋のり子（あきもと）
- ◆十五年以上
 - 佐藤 サダ（スーパリーなりた）
 - 斎藤 徹臣（白兼ストア）
 - 斎藤千万次郎（木村製材所）
 - 田中 初枝（木村製材所）
 - 田中 キヌ（金木木材工業）
 - 白川 昭次（又一製材所）
 - 長尾 サダ（あきもと）
 - 中谷 恵子（あきもと）
 - 其田 周治（今与建設）
 - 太田 雅文（松江造花仏壇店）
 - ◆十年以上
 - 桑田 則子（津軽ファッション）
 - 小松 待子（津軽ファッション）
 - 上野 欣一（金木自動車学校）
 - 秋田谷愛子（バーおくら）
 - 泉 くに子（バーおくら）
 - 澤田 盛（前田建材）
 - 石戸谷キヌ子（尾野病院）
 - 前田 桂子（尾野病院）
 - 野宮 誠子（尾野病院）
 - 越谷 久子（尾野病院）
 - 三浦 裕子（尾野病院）
 - 白川 勝衛（又一製材所）
 - 白川 久代（京染の白川）
 - 長内 義弘（スーパリーなりた）
 - 斉藤いち子（スーパリーなりた）
 - 山本フミ子（スーパリーなりた）
 - 大橋 優（角平商店）
 - 石戸谷せつ子（あきもと）

まちのびもぐり

サンタさん遊ぼうね!



十二月一日、かなぎサンタ・フェスティバル実行委員会（委員長＝鳴海町長）が主催する「サンタ列車」の出発式が

今年初めての雪が舞う中、五所川原駅で行われ、町立第一保育所すみれ組、ゆり組の園児四十七人が一足早いクリスマス気分を味わいました。今年で十回目を迎えたサンタ列車の出発式で、鳴海町長と三和満津軽鉄道社長があいさつした後、園児を代表して原田和希君と白川彩華ちゃんがサンタさんに「今年、保育所でクリスマス会を開くので、遊びにきて下さい」と元氣よくメッセージを読み上げ、運転士や車掌等に花束を贈り、早速クリスマススムード一色の列車に乗り込んで、サンタさんへのお願いかードに「ポケットモンスターがほしい」、「くまのぬいぐるみがほしい」などと書いて、ポストに投函していました。

「あわてんぼう・ふとりすぎたサンタクローズ」を元氣よく歌うと、サンタクローズが一人ひとりにお菓子をプレゼントし、園児たちは大喜びでした。

老人クラブ養寿会 雪囲い



▲いつもごくろうさまです

十一月十一日、芦野公園内のこども広場入り口周辺や国道三三九号線沿いにある噴水周辺の雪囲い作業を、金木老人クラブ養寿会（会長＝木村不二男）会員約四十人が行いました。

芦野公園は、春のさくらまつりや大宰治の命日にちなんだ桜桃忌が行われる場所。また、歴史民俗資料館や児童動

物園、今年完成した「芦野・夢の浮橋」などがあり、毎年大勢の観光客が足を運ぶところとして町の名所の一つとなっており、園内の色とりどりの花や「もみじ」「かえで」などの紅葉も楽しめます。

これらを雪から守り、来年また美しい花や紅葉が見れるようにと会員の皆さんは四、五人で班を編成し一週間をかけて、枯れ葉の清掃や雪囲いに汗を流しました。

第4保育所

園児が 職場訪問

金木幼稚園



▲体に気をつけてね

勤労感謝の日に先立ち、十一月二十一日、町立第四保育所の園児二十五人が隣接する武田電子（社長＝鈴木定雄）を訪れ、従業員の方々に「毎日のお仕事ご苦労さまです。これからも体に気をつけて頑張ってください」とシクラメンの鉢植えをプレゼントしました。

同保育所では、今年武田電子から紅白の幕やブロックなどの遊具を寄贈していただいた。



▲どうぞ町長さん

たお礼に訪れたものです。また、金木幼稚園（園長＝片岡八千雄）の園児十四人が同日、役場を訪問し、鳴海町長に元氣よくあいさつした後、花束を手渡しました。

鳴海町長は「お父さん、お母さんの言うことをよく聞いて、事故に気をつけ風邪をひかないようにして下さい」とお礼を述べ、一人ひとりにお菓子をプレゼントしました。

嘉瀬小 もちつき大会



▲つきたてのもちをサントピアホームへ

嘉瀬小学校（校長 山内隆）で十一月十五日、今年で十八回目となる校内もちつき大会

が行われ、収穫したもち米を全校児童と父兄等と一緒にもちつきをして今年の豊作を祝いました。同校では、嘉瀬農協青年部の協力で五年生が春に田植えを行い、秋の稲刈りは天候不順で出来なかつたものの、今年約七十五kgのもち米を収穫しました。この日、体育館に用意された三つのうすの前でお母さん方が蒸したもち米を、お父さん方がついて見せると児童から「ワー」と言う歓声が上が

り、エプロンに三角巾姿の六年生一人ひとりもちつきを楽しみました。つきたてのもちを、お母さん方と低学年の児童が早速思いの大きさに丸めたり、ちぎったりし「おぞうに」「おしるこ」「あんもち」にして全員で味わいました。また、日頃お世話になっている駐在所や嘉瀬老人クラブ、サントピアホームを訪れ、感謝の気持ちを込めて出来上がったあんもちをプレゼントしました。



▲講義に耳を傾ける受講生

郵政省から認可を受けた「かんぽ健康増進支援事業」の一環として十一月十二日から二十日（十五、十六日除く）までの七日間、ホームヘルパー

初日の開講式には、簡易保除加入者協会所長や東北郵政局長などが出席し受講者に対し「これからの高齢化社会に向け、福祉に対し有資格者となり女性の地位向上を目指し頑張ってください」とあいさつ。早速、講義二十五時間、実技講習十七時間、実習八時間の全五十時間のカリキュラムに入りました。受講には「家庭にいる老人に対し何か役立

つことを学びたい」と言う人や「将来、看護婦を目指しているの」と参加した高校生の姿などが見られました。最終日、中里町の内湯療護園デイサービスセンター見学研修を終えた後、中央公民館で閉講式が行われ、鳴海町長が「実母が亡くなる前、ホームヘルパーの手を借りてありがたかったことは、身を持って感じました。今後は、社会福祉のために各方面で頑張ってください」とねぎらっていました。また、席上受講した四十八人一人ひとりに修了証書と記念品が手渡されました。

ホームヘルパー養成研修

三級課程養成研修が行われ、五十一人の女性が受講しました。

園デイサービスセンター見学研修を終えた後、中央公民館で閉講式が行われ、鳴海町長が「実母が亡くなる前、ホームヘルパーの手を借りてありがたかったことは、身を持って感じました。今後は、社会福祉のために各方面で頑張ってください」とねぎらっていました。また、席上受講した四十八人一人ひとりに修了証書と記念品が手渡されました。

徳田喜代司さん

全国大会へ

青年農業者の意欲高揚と新しい農業経営者としての資質向上を図る目的で、第二十八回東北農村青年会議「秋田大会」が十一月十二日から十四日までの三日間、東北各県から二百四十名が参加のもと、秋田県田沢湖町で開催されました。

ウターン青年である徳田さんの発表内容は、「優秀な農業者の経営から学ぶ」と題し、自家経営の問題点である「収入が不安定」「労働力不足」などを早期に解決して、目標所得を確保することや県内外の粗収入がおおむね三千万円以上の農業者等を三十件選定し、栽培品目や販売方法などの特徴を調査し、自家の経営改善に反映させていることを発表しましたので審査員から高い評価を受けました。

本県代表として参加した徳田喜代司さん（蒔田）が、日頃の活動で得た知識や技術の成果をプロジェクト発表し、見事優秀賞に輝いて、来年二月に東京都で開催される全国大会へ東北代表として発表す

中でも先進的な農業は、異業種交流を盛んに行い、情報収集に努めている。将来が期待できる花き・苗物においては失敗を恐れずに継続的に栽培技術の向上に努力している。常に将来に目を向け夢を持って取り組んでいることなどを力説していました。今から全国大会での活躍が楽しみです。



▶全国大会へ意欲満々の徳田さん

未来のパパとママ ふれあいセミナー

— 金木南中学校 —



▲真剣に講話を聞く生徒たち

これから親になる若い男女に、命の尊さと出産・育児等に関して正しい知識を習得してもらおうと十一月十三日、金木町保健センターで「母子のふれあいセミナー」が行われ、金木南中学校（校長 小笠原勲）三年の男・女生徒七十二名が参加しました。

男性の理解と協力が必要ということで今年、男女揃った学習会になりました。始めに、健康アドバイザーの相馬ふささんが「性と生命」と題して講話を行い、その中で「相手を思いやる心、いつくしむ心を持って心豊かな人になって下さい」と話しました。

その後、女子生徒による「ふれあい体験学習」では、生後四ヶ月から一歳までの赤ちゃんを抱っこしたり、慣れない手つきでおむつを替えたりしたもの、ままならない赤ちゃんの行動に戸惑いげみ。お母さんたちから育児の大変さや楽しさなどを聞き、心に残る実習となったようです。最後に、生徒を代表して鳴海敬子さんが「赤ちゃんとお



▲お母さんともふれあいました

れあい、なついてくれたときの笑顔がかわいく、今日のセミナーを将来に役立たせたいとお礼を述べました。

お母さんたちは「このような体験学習の回数をもっと増やし、幅を広げてほしい」と話し、「今日参加した生徒は、さつと良い母親になる」と太鼓判を押していました。



▲おむつを替えるのは大変でした

嘉瀬小学校

～ 新たな一歩 ～

120周年記念式典



▲式典で「奴踊り」を披露

十一月三十日、嘉瀬

小学校（校長 山内隆）の創立百二十周年記念式典が、全校児童や教職員、来賓など約三百七十名が出席して盛大に行われました。

同校は、明治十年二月に嘉瀬雲雀野内に嘉瀬簡易小学校として創立。昭和四十八年五月に現在地に校舎移転以来、これまでに六千九百三十六人の卒業生を送り出しています。

式典では、始めに山内校長が「素晴らしい校風と環境に恵まれてスポーツ・文化に親しみ、心豊かでたくましい『嘉瀬っ子』の育成に努力していきます」と式辞。来賓の鳴海町長が「地元の皆様の愛

情と理解で現在があります。百二十周年の歴史をさらに意義あるものとし、平和を創造する純真な子どもたちの人間づくりの場となるよう祈念します」と祝辞を述べました。

在校生を代表して、児童会長の下華奈美さんが「親子で違う校舎で学び、長い歴史を肌で感じています。今後も伝統を引き継ぎ頑張っていきたいと思います」とお祝いの言葉を述べ、最後に全校児童による「まつり」と題した群読や合唱、伝統芸能の「奴踊り」が披露され、出席者から大きな拍手が送られて記念式典に華を添えていきました。

「チャリティー民謡ショー」 「ふれあい昼食会」

十一月二十四日、民謡手踊りチャリティーショーが中央公民館で開催され、多彩なイベントに大きな拍手が送られていました。

このチャリティーショーにあわせて、社会福祉協議会（会長 角田正男）では「ふれあい弁当」事業を開催して参加された一人暮らしの方々へ、中央公民館料理教室（会長 毛内レツ）のグループが腕によりをかけた手作り弁当を配

り喜ばれました。

十人を招待し、手踊りや民謡舞踊り、三味線などを披露していました。



◀見事な手さばきで踊る皆さん

こいみんねんきん

学生の皆さんも 20歳になったら 国民年金に 加入しましょう

二十歳になったら、国民年金に加入しましょう。

学生の皆さんは、以前は希望した人だけが国民年金に入る「任意加入」の仕組み

になっていました。しかし、加入していなかった人が、この間に事故などで障害を持った場合、障害基礎年金を受けることができませんでした。

また、老齢基礎年金は二十歳から六十歳までの四十年間保険料を納めて、満額の年金を受け取ることができず、この点も不利でした。

このような不利益をなくするため、学生であっても二十歳から国民年金に加入することを義務づけることにしたものです。

二十歳になったら、住民票のある市町村の役場で加入の手続きをして下さい。親が代理ですることできます。

学生本人に収入がない場合、親元から保険料を納めていただくこととなりますが、親元の事情によって、それも困難な場合には、保険料の納付を免除する制度もありますので、市町村役場や最寄りの社会保険事務所でご相談下さい。

平成9年度 全国中学校人権作文 コンテスト青森県大会

人権に関し、作文等を通じて、相手の気持ちを思いやるという人権尊重の重要性、必要性について理解を深めるとともに、日常の学校生活や家庭生活における身近な問題をはじめとして、いじめ、障害者問題、差別や偏見などのさまざまな問題を純粋な目で見つめ、人権問題を鋭くとらえた作文として青森県人権擁護委員連合会及び青森地方事務局より金木中学校三年の外崎司佑子さんと長尾有希子さんの二人が応募総数一、五〇六通の作文の中から優秀賞に選ばれました。また、人権思想の普及高揚、啓発活動に務めたとして同校に感謝状が贈られました。



▲受賞を喜ぶ長谷川校長と長尾さん、外崎さん

あなたの善意 ありがとうございました

- ▼社会福祉協議会へ（敬称略）
 - 扇謡会（会長＝阿部定一）
チャリティー民謡ショー
89,203円
 - 金木町本町納税貯蓄組合
（組合長＝三上光弘）
福祉のために 100,000円

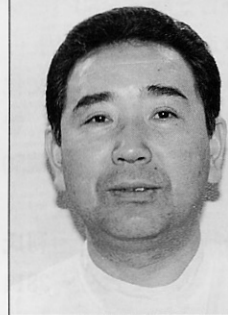


▲寄付する阿部会長

金木病院カルテ (144)

放射線と健康

放射線技師 小野 武則



X線撮影が終わったあと、どのくらいの間、X線が部屋の中に残っていますかと聞かれることがあります。これはたぶん放射線と放射能が混同されているか、放射線が霧のような物質と考えているからだと思います。

放射線は①X線やガンマ線のようなテレビの電波や光の間である電磁波と呼ばれる空間を伝わっていく波と、②アルファ線やベータ線のような、元素を構成している小さな粒子が空間を飛び回っているものの二つに分かれます。放射線は①病院などのX線発生装置のような機械的につくられるものと、②放射線を出す性質を持った放射性同位元素と呼ばれる物質から出てくるものの二つに分けられません。

生装置は、ちょうど部屋の中にある電球と同様で、スイッチを入れた時だけX線を出します。電球が電気のスイッチを切った瞬間、光がなくなり暗くなるのと同じで、X線も発生装置のスイッチを切ると瞬時になくなってしまうのですから、X線がX線室の中でいつまでもただよっているということはありません。放射線を自然に発生する性質を持った放射性同位元素と呼ばれる物質があります。放射線を自然に出すこの性質を放射能と言います。放射能を持った物質である放射性同位元素は固体や液体のような物質で、放射能がなくなるまで放射線を出し続けます。放射能は時間とともに減少します。私たちの身の回りにも、地球の外から降り注いでいる宇宙線、ウランやトリウムなど

の自然放射性物質から出る自然放射線があります。自然放射性物質は空気、水、大地、建築材料あるいは人体や一般の生物の中にも大なり小なり含まれております。人は最初からこのような放射線のある環境の中で生活してきました。人が自然放射線の存在に気付かなかつたのは、放射線は目に見えず、耳に聞こえず、触れてもわからず、味も臭いもなく、体を感じることもないからです。一八九五年にレントゲンが初めてX線を、そしてその後ベクレルがウランからの放射線を、キュリー夫妻がラジウムを発見してから放射線や放射能を知ったのです。X線が人体を透過するときには、臓器や組織によって密度が違うために吸収や散乱の程度が異なります。人体を透

過したX線をテレビに映して、見えることをX線透視と言います。連続して透視することにより臓器の動いている様子などを観察することができるようです。これを利用してバリウムやヨウ素、空気や炭酸ガスなどの造影剤を人の体内に入れて胃、腸、腎臓、心臓、血管などをはっきりと写し出して診断に役立てています。これはX線造影検査と言われるております。

人体に種々な角度からX線をあて、コンピュータで処理をし、人体の断面像を描き出す方法をX線CT（コンピュータ断層撮影）と言います。

X線CT検査は脳腫瘍、脳梗塞、脳梗塞の診断や肝臓、腎臓などの疾患の発見に役立っております。

また、人体に放射性同位元素を含んだ薬品を投与し、それから出る放射線を利用しての検査やがん細胞に放射線を照射する放射線治療など放射線はいろいろ利用されております。

しかし、放射線は人体に有害な作用を及ぼすこともあります。そこで放射線を利用するさいには、必要でない被曝を防ぎ、危害を受けることをないように、また必要と考えられる放射線の被曝でも最小限にとどめる方法を考えながら利用していくことが大切です。

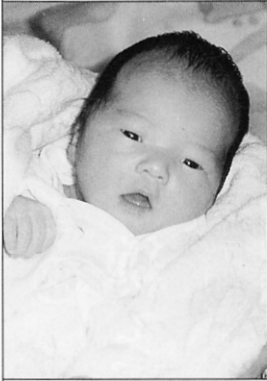
— 金木病院から —

年末・年始の休みについて

12月27日 (土)	全	休
12月28日 (日)	全	休
12月29日 (月)	全	休
12月30日 (火)	診療	日
12月31日 (水)	全	休
1月1日 (木)	全	休
1月2日 (金)	全	休
1月3日 (土)	全	休
1月4日 (日)	全	休

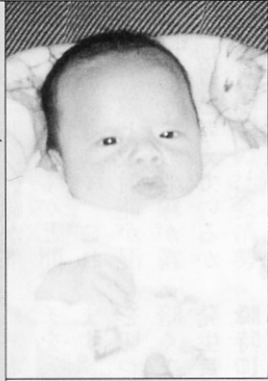
※ただし、急患はいつでも受付けます。

はじめまして



美み
里さと

お兄ちゃんと仲良くね
(母 松川和代より)



翔しょう
梧ご

明るく健康な子に育ってほ
しい (父 棟方良治より)

ふるさとのかたりべ

第12集好評発売中

- ◆ B 5 版 全80ページ
- ◆ 定 価 1,000円
- ◆ 内 容 金木町文化遺産及び遺跡について、昔の農家の食生活、特集続50年前その時私らは、など
- ◆ 購入先 木村治利氏
☎52-2811 [発行：嘉瀬ふるさとを探る会]



江松棟白斎
良川方川藤
俊美翔大朱
哉や里梧敏莉
(弘文)(光広)(良治)(秀敏)(和明)
金嘉嘉嘉嘉
木瀬瀬瀬田木

おめでとう
十一月届出分

戸籍の窓

おしあわせに

今 治(義廣) 藤 枝
三橋由喜美(義孝) 五所川原市
長尾 秀人(匡時) 金 木
黒滝 千秋(晃一) 稲垣村
葛西 拓(倉光) 喜良市
一戸 由美(勝) 五所川原市
竹内 官(竹六) 金 木
外久保洋子(富勝) 青森市
西村 勇士(隆) 喜良市
山中美奈子(清美) 嘉 瀬

おくやみ

この欄は、金木町に住所を有している方々を掲載しています。掲載を希望しない方は町民課窓口に届出の際申し出てください。

白川	川口	白川	内海	成田	中村	米谷	寺山
熊蔵(70才)	清衛(76才)	伊マ(77才)	清吉(66才)	エコ(75才)	広(61才)	キン(96才)	功実(32才)
金木	嘉瀬	嘉瀬	藤瀬	金木	喜良市	喜良市	喜良市

つがる弁 クイズ

このクイズは若い人の知らない、聞いたことの無い津軽弁を楽しく、再発見してもらおうと問題にしたものです。

Q. 「マッコケルオドドオガ」

を標準語の会話に直して下さい。
正解者の中から抽選で3名様に素敵な記念品を差し上げます。どんどん応募して下さい。

応募方法

ハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入のうえ

- ①クイズの答 ②今月号のよかった記事 ③つまらなかった記事 ④ご意見・ご感想 を記入し、
〒037-02 金木町大字金木字朝日山323
金木町役場企画室

までご応募下さい。

応募の締切は1月6日当日消印有効。当選者の発表は1月号に掲載します。

たくさんのご応募、お待ちしております。

人口と世帯

	11月末現在	前年同月比
男	5,881人	△ 51人
女	6,477人	△ 70人
計	12,358人	△ 121人
世帯数	3,933	11

伝言板

◎届いています
十一月二十三日
喜良市コミュニティセンター
1で行われた寺山家通夜
《黒のバックと数珠》
心当たりの方は、
喜良市南本町 工藤まで
☎五三一三三三六
◎係から
このコーナーを利用した
いは役場企画室まで。